



がん撲滅チャリティー横浜大会入場券を寄贈しました

令和 8 年 7 月 8 日

令和 8 年 7 月 8 日（水）、がんと闘う患者さんやそのご家族に楽しんでいただくため、新日本プロレスがん撲滅チャリティー横浜大会入場券 100 枚を神奈川県に寄贈しました。

神奈川県庁で行われた寄贈式で、神奈川県遊技場協同組合伊坂理事長（神奈川福祉事業協会会長）は、「私自身、家族をがんで亡くしており、患者さん、ご家族の気持ちをよく存じている。プロレス観戦を通じて一時でも苦しい思いが軽減されれば有難い。これからも支援していきたい。」と挨拶するとともに、首藤副知事に入場券100枚を寄贈しました。



左から 伊坂理事長、首藤副知事

首藤健治副知事からは「こういう動きでがん治療を盛り上げてもらえるのは、現場の人や行政にとって、とても心強い取り組み。改めて感謝を申し上げる。」と謝辞を述べられました。

寄贈したのは、8月8日横浜武道館（横浜市中区）において開催される「新日プロレスがん撲滅チャリティー横浜大会」の入場券で、県内の病院などを通じてがん患者さん等が招待されます。



前列左から 伊坂理事長、首藤副知事

後列左から 桐生県議会議員、県遊技場協同組合小林副理事長、株式会社「創」小島恵
美子代表取締役、同小島康江会長、神奈川県遊技場協同組合佐藤専務理事、
独立行政法人県立病院機構阿南理事長

平成 17 年度（2005 年）から入場券の寄贈を始めたもので、今回で 20 回目になります。

試合を観戦した方々の生きる力の支えになれば幸いです。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。